

大阪代協

# 第16回御堂筋クリーンイベント



参加者による集合写真

## 会員、保険会社社員ら645名参加

大阪代協(山中尚会長)は、6月3日、第16回御堂筋クリーンイベントを開催した。このイベントには、代協会員と保険会社社員、その家族ら645名が参加した。

参加者は本町の北御堂、なんば、大阪市役所南側の3か所に分かれ、午前10時から一斉に清掃を開始。夏を思わせる青空が広がり、爽やかな風が吹く絶好の日和となった中でスムーズに清掃が行われた。道端に落ちていた木の葉や紙くず、ペットボトルや空き缶を拾う人、中には大きな段ボール紙を拾っている人もいた。家族連れも多くなり、小さな子供たちが大人たちと

一緒にゴミを集めている姿はほほえましく感じられた。午前11時前くらいから清掃を終えた参加者がゴミ袋を持ちながら、集場所である中之島の大阪市役所に次々に戻ってきた。集められたゴミは大阪市役所北東の道路を隔てた所で、スタッフたちによって分別された。

集合場所に設けられた清涼飲料水の配布コーナーでは、ジュースやお茶、コーラなどが冷수에浸して置かれ、戻ってきた参加者たちが好みの飲料水を飲みながら、周辺の木陰で談笑したり休憩したりしていた。

参加者からは「本当にお天気がよく、多くの人が参加しているのに驚きました。私はなんばからの清掃ですが、タバコの吸殻や空き缶などが結構捨てられていました。道中のシンボルである御堂筋をきれいにできて気分が爽快になりました」と、また、子供と一緒に参加したお母さんは「このような機会が少ない中、子供に本当にいい経験をさせることができました」と感想を話してくれた。



生命のメッセージ展

## 「生命のメッセージ展 in 横浜」を後援協力 神奈川代協など

交通事故や犯罪被害で命を落とした犠牲者の遺品などを展示する「生命のメッセージ展 in 横浜」が6月12日から17日まで、神奈川県横浜市神奈川市民ホールで開催され、神奈川代協などが後援協力した。

生命のメッセージ展の主催団体はNPO法人いのちのミュージアム。同展では、交通事故や犯罪被害により命を落とした犠牲者の等身大の人型パネルや犠牲者が生前に履いていた靴、遺族の犠牲者に向けたメッセージなどが展示され、これらを通じて来場者に向けて、命の大切さを呼びかけた。主催団体代表理事の鈴木共子さんは、神奈川代協が後援協力してくれたことについて「保険代理店の皆さんは職業上、交通事故の加害者や被害者だけでなく事故被害者の遺族とも接する機会があり、シビアな問題にたくさんふれている。こうした保険代理店の集まりである代協が私たちの活動を応援してくれることは大変ありがたい」と話した。

神奈川代協でCSR委員長を務める安田哲生氏は「こうした展示は会期中の会場運営などだけでなく、皆さんの力が必要になる。私たち代理店も仕事から交通事故と向き合う機会があるので、こうした取り組みに神奈川代協として協力できればと思います。後援させていただくことにした」とコメントした。

犯罪被害とりわけ飲酒運転による死亡事故は後を絶たない。地域に根付いた活動を強みとする代理店には事故防止の率先した啓発運動が期待される。